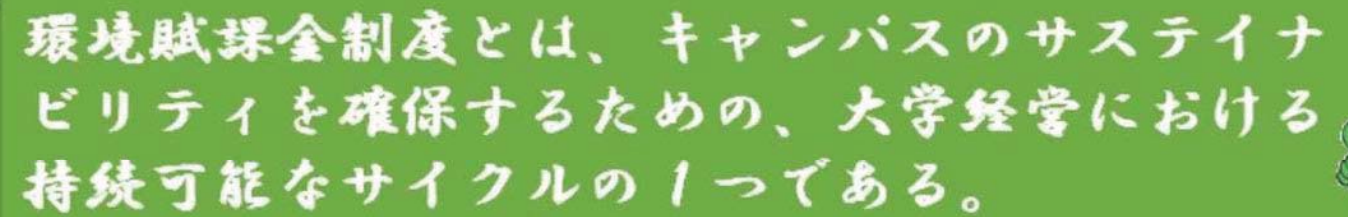


大学経営の一環としての環境賦課金制度

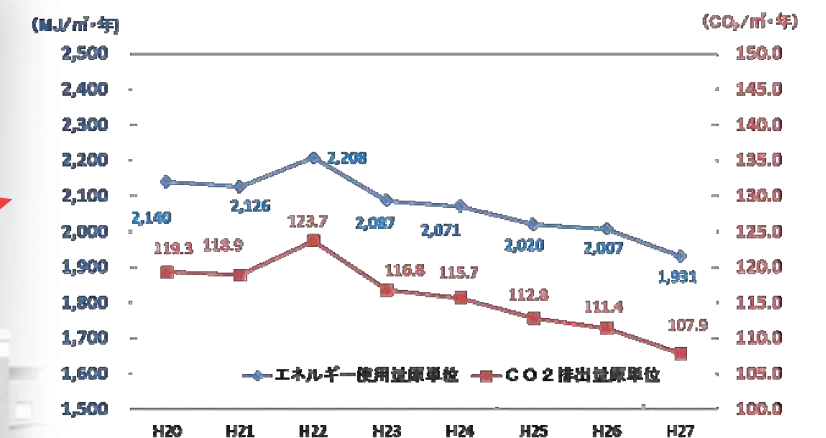


【財源の確保】
エネルギー使用量
に応じた、環境賦
課金の徴収

【投資】
エネルギー利用
効率の向上を目的
とした、省エネ改修
工事等への投資

サステイナブルサイクル

【コスト削減】
エネルギー使用量
の削減に伴う、光
熱費の抑制



この制度は過去8年間も行われていて、
そしてこれからも続けていくよ！

これまでの環境賦課金事業等による削減効果の実績まとめ(2)

制度設計のポイント

インセンティブ効果

Win-Winの関係※1

部局への還元

資金運用の柔軟性

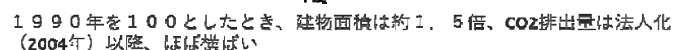
総額の確保※

透明性の確保

総額の確保※

全学委員会による ガバナンス

※1：本部 - 部局
※2：約2.4億円



社会的責任の遂行

光熱費の抑制

大学経営に貢献

各年度の対策による効果	年 度								合計
	第Ⅰ期事業期間					第Ⅱ期事業期間			
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
環境賦課金（千円）	241,563	246,988	243,679	253,916	248,826	234,760	236,652	234,650	1,944,034
削減エネルギー量（GJ）	23,884	27,796	26,791	51,921	35,473	26,839	22,753	18,085	232,311
削減CO ₂ 量（t-CO ₂ ）	1,129	1,518	1,349	3,073	1,825	1,374	1,118	948	12,084
削減光熱費（千円）	30,750	36,113	33,528	67,497	46,114	34,890	29,578	23,511	302,001
削減光熱費の累計額（千円）	30,750	66,863	100,391	167,888	214,002	248,892	278,470	301,981	1,409,237

投資回収年数
(環境負荷金/削減光熱費)
↓
平均6~7年程度
(第Ⅰ期・第Ⅱ期投資分)

平成27年度の削減累計額（約3億円）は、同年度の本学の光熱費（約50億円弱）の約6%の規模に相当する。

環境賦課金導入時（平成20年度）のエネルギー量（2,393,114GJ/年）に対して、8年間で約9.7%（232,311GJ）削減した。エネルギー、CO2とも、本学の削減目標（原単位で毎年ハード1%削減）をクリアしている。

※ただし、保有面積も増加傾向にあるため、総量としては横ばい状態となっている